

事務事業名	芳賀赤十字病院施設整備費補助事業				担当	健康福祉部 健康増進課 健康支援係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-81-6946		
施策名	7	地域医療体制の充実			☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠	芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱					☐ 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	1. 保健衛生総務費		☒ 期間限定複数年度（平成28 年度～平成30 年度）		
事業概要	高度な医療サービスの提供や救急医療体制の強化が図られ、地域医療の発展に大きく寄与することが期待される、芳賀赤十字病院の新病院建設に要する費用に対して助成をする。 1市4町で新病院建設事業費（当初計画）160億円の1割に当たる16億円を、平成28年度から平成30年度の3年で分割して支援する。 真岡市総額 10億円（平成28年度 3億1,250万円、平成29年度 3億7,500万円、平成30年度 3億1,250万円）							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 3億1,250万円の支援 29年度計画 3億7,500万円の支援				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
				ア 補助金額	千円	-	-	-	312,500	375,000
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 芳賀赤十字病院				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
				ア 芳賀赤十字病院新病院 進捗率						
				イ 建築主体工事	%	-	-	-	0.60	52.20
				ウ 電気設備工事	%	-	-	-	1.36	11.90
				エ 機械設備工事	%	-	-	-	2.00	3.00
				オ 土地取得	%	-	-	-	100.00	100.00
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 高度な医療サービスの提供や救急医療体制の強化が図られる。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
				ア 救急車、救急病院の対応満足度	%	-	-	-	74.2	71.8
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域医療の発展に大きく寄与する。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
				ア 市内の医療体制満足度	%	-	-	-	79.8	81.4
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移				単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0			
			事業費計(A)	千円	0	0	0	312,500	375,000	
	人件費		正規職員従事人数	人	0	0	0	1	1	
			延べ業務時間	時間	0	0	0	10	10	
			人件費計(B)	千円	0	0	0	42	42	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	312,542	375,042	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。				・平成27.9 当初計画の新病院建設事業費160億円の1割に当たる16億円を、平成28年度から平成30年度の3年で分割して支援する財政支援要請が、芳賀赤十字病院から芳賀都市町村会に対して有り。 ・平成27.11 芳賀都市町村会において支援を決定。（真岡市10億円、4町6億円）						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱に基づき実施しており、地域医療の発展に大きく寄与する。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱に基づき実施しており、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱に基づき実施しており、対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱に基づき実施しており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 芳賀赤十字病院施設整備費補助金交付要綱に基づき実施しており、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 芳賀都市町村会で負担割合が決められており、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費であるので、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 芳賀都市町村会で負担割合が決められているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								